

化学工学会第 53 回秋季大会 材料・界面部会横断型シンポジウム(共催)

ST-21 データ駆動型研究開発の最先端 報告書

オーガナイザー

嶋田 五百里 (信州大学) (文責)

金 尚弘 (東京農工大学)

戸谷 吉博 (大阪大学)

金子 正吾 (住友化学(株))

向田 志保 (三井化学(株))

2022 年 9 月 14～16 日にオンライン開催された化学工学会第 53 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 17 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 16 日 9:00～17:00 17 件(招待講演 4 件を含む)
会場	DC 会場・オンライン ハイブリッド
聴講者数	約 80 名
招待講演	『データ駆動型 AI ラボの取り組みとサイバー触媒科学の展開』古山通久氏 (信州大学) 『AI 駆動科学を用いたバイオ医薬品の創薬プラットフォーム』玉木聡志氏 (株式会社 MOLCURE) 『全自動・自律型合成システムを活用した機能性無機薄膜材料探索』清水亮太氏 (東京工業大学) 『ポリマースマートラボとマテリアル DX によるデータ駆動高分子材料開発』内藤昌信氏 (NIMS)

以上